



7月26日、下妻市の千代川地区で「第28回ふるさとまつり連合渡御」が開催され、約2,000人の観客で賑わいました。本まつりは、地域の伝統文化を通じて活性化と交流の場を提供することを目的としています。

今年は、地域を代表する神輿9基と山車5台が一堂に会し、会場内はお囃子の演奏とともに、勇ましい掛け声が響き渡りました。観客は迫力に引き込まれ、まつりの雰囲気存分に楽しんでいました。

会場では、浴衣姿でかき氷を楽しむ子どもたちの姿も見られ、笑顔に包まれた光景が広がりました。



8月2日、下妻市の夏の風物詩「下妻まつり2025」が盛大に開催されました。下妻まつり実行委員会の主催により、約19,000人の観客が集まり、会場は熱気に包まれました。

会場では、市民団体による演技や伝統芸能の披露、扇子絵付け体験やキッチンカーが並ぶナイトマーケットなど多彩なアトラクションが展開され、家族連れで大変な賑わいを見せていました。

今年は大迫力の噴水が登場。光と音楽に合わせて舞い上がる噴水ショーに、子どもたちは大歓声を上げていました。

夜のファイナレを飾ったのは、砂沼湖上から打ち上げられた約3,000発の花火。夜空を彩る美しい大輪の花火に、観客は歓声を上げながら見入っており、感動的な瞬間を共有することができました。